

まちづくり活動助成 **地域“魅力”アップ部門** “はじめの一步”部門
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	ドキュメンタリー映画「名古屋空襲を語る」		
団体名	名古屋活動写真		
提案の活動を行う地域	名古屋市域		
提案の内容	<p>名古屋空襲(第2次世界大戦)の体験者達が高齢化とともに減少していく現在、今しか語られることのない、今だから語ることができる体験者の思いを、「語り」と貴重な映像、写真、資料映像を織り交ぜ、後の世代にメッセージとして伝えるドキュメンタリー映画を作成する。</p> <p>1 企画の経緯</p> <p>昨年制作した映画「開府四〇〇年名古屋の山車祭り」の取材のため、名古屋の山車の大半が焼失した経緯をインタビューした。その際に1945年の空襲により名古屋城が炎上したこと、当時の人びと、まちの様子などを伺った。そして最後には、命の尊さをカメラに向かって話し始めた。その話は現代の名古屋を生きる人々に送るとても大切なメッセージだと私(森)は感じた。</p> <p>2 テーマ</p> <p>焼け野原から大都市名古屋へ 名古屋の歴史、まち、くらしの戦前、戦後の転換期となった「名古屋空襲」の体験者が語る過去、現在、未来の「名古屋」への思い</p> <p>3 作品の中に流れるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生まれ育った戦災前の名古屋への思い、誇り ・ 戦争で失ったもの ・ 戦災復興により発展を遂げた名古屋、名古屋市民への思い、誇り ・ 戦後の発展の中で失ったもの ・ 次世代に伝えたいもの <p>4 構成</p> <p>30～40人の市井の名古屋空襲体験者を募り、その方々の「語り」とそのメッセージに対応した貴重な映像、写真、資料などを織り込み、約40分の映像に編集する。</p>		
活動期間	平成23年4月～平成24年3月	助成金交付申請額	50万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。)</p> <p>※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争から長い年月を経て、戦争前、戦争時の名古屋を知る世代が少なくなり、市井に眠る貴重な資料も失いつつある。 ・今まで多くのことを語らなかつた、語ることができなかつた市井の市民が多くいる。 ・こうした人々の「語り」、資料を記録にとどめるには残り限られた時間となっている。 ・今こそ戦前、戦後の復興、その歴史的な転換点となった「名古屋空襲」を、これらを体験した人々の「語り」により「名古屋への思い」「名古屋のまちの記憶」を貴重な資料とともに、「記録」することの重要性を感じている。 ・歴史的な転換点となった「名古屋空襲」をメインテーマにすることにより、「名古屋のまち」をあらためて振り返り、その「歴史と今及び将来」浮き彫りにできる。 ・前回のプロジェクトで本会は、これらの歴史の語り部の人々、市井に眠る貴重な映像、写真、資料があること知り、取材、提供いただける機会とネットワークができた。 ・前回のプロジェクトで人々の内面を映像化し、歴史と文化、名古屋のまちをドキュメンタリーの手法で記録し、次世代に継承するノウハウを得ることができた。 	
審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名古屋空襲」を戦前と戦後の都市（構造）、産業の転換点の視点ではなく、市井の市民にとっての「暮らし」「生活文化」「まちへの思い」の転換点と捉える。 ・名古屋の歴史の転換点である「名古屋空襲」、戦後を体験している世代は、高齢化により減少しつつある。 ・この世代の市井の「生き証人」の「語り」によって、名古屋の「まちの記憶」を、失いつつある貴重な映像、写真、資料とともに、映像により記録する。 ・内面に残る記憶を「語り」という形で映像化し、「記録」することは、時間、空間を超えて、第三者が追体験できる。 ・記録映像は、目に見え、聞くことによる、わかりやすく、訴求力できる。 	
審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的にになっているか ・事業予算は妥当か
時期	活動内容
平成 23 年 4 月 6～9 月 12 月 1 月～	企画着手 体験者、映像、写真、資料の募集、収集、取材、映像化 編集、DVD化(1,000枚) DVDの配布、市内公共施設での講演会と上映会を実施 (前回の「名古屋開府四〇〇年と山車まつり」の上映会、講演会には出演していただいた方に来訪いただき、参加者と意見交換する予定。))

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
市民の体験募集	DVテープ	@600 × 100本	60,000
	機材レンタル	@15,000 × 30日	450,000
インタビュー、映像記録	バッテリー	一式	40,000
	スタジオ賃料	@20,000 × 20日	400,000
	DVD パッケージ	1000枚一式	400,000
映像、写真、資料の映像化	取材謝礼		100,000
	交通費		100,000
映像、音楽編集、DVD作成	スタッフ人件費	監督、撮影、照明、音楽等のスタッフはボランティア(無償)	
講演会、上映会		協力	
計			1,550,000

審査基準④ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 今回の活動では、「名古屋空襲」をテーマに、戦後、戦后市井の人々の「語り」と貴重な映像、資料等を織り交ぜ、ドキュメンタリー作品として記録します。 こうした映像への記録、保存は時間、空間を超えて体験を共有でき、いつ、どの場所でも、体験をわかりやすい映像と音声でメッセージを伝えることができます。 今回の成果も、前回の「名古屋開府四〇〇年と山車まつり」同様、DVDに記録し、公共施設等に配布します。また講演会、上映会を開催し、市民とともに、「名古屋空襲」をテーマに、市民とともに名古屋のまちの過去、現在、未来を考えて行きます。	
審査基準⑤ 活動実績と主体性	・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。) ・具体的にどんな熱意を注いでいるか
※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。 ※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。 団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。 名古屋活動写真は、2008年1月に「円頓寺活動写真」として発足しました。 同年に地域まちおこし映画「歪屋」(自主製作映画)製作し、名古屋の地元市民のボランティア参加により、円頓寺・四間道界限、建中寺、名古屋城など歴史的名所等でロケをし、地域の魅力を映像作品で発信してきました。 また2010年は清須越400年にあたり「大山車まつり」が行われ、この100年に一度の記念すべき年に、地域に根付き、継承されてきた山車及び山車文化、これをにう保存会などの市民の活動を記録映画「名古屋開府四〇〇年と山車まつり」として残しました。この貴重な歴史的資産、文化、活動を次世代につなぐことができ、保存に携わる多くの方々から感謝いただきました。 ・映画「歪屋」の上映会、講演会 名古屋市西区役所、西区・円頓寺 i-Cafe、北名古屋市文化会館、ミليون座(名古屋シネマフェスティバル2010、上映のみ) ・記録映画「名古屋開府四〇〇年と山車まつり」の上映会、講演会 東・西・南生涯学習センター、四間道ギャラリー、その他生涯学習センター(実施予定)	

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。